

「輝け憲法と地方自治」～連帯のちからで情勢を確かなものに～

ニュースの
名前が決ま
りました

まびだんご

2010/1/22(金) NO.1
発行：第10回地方自治研究全国集会岡山県実行委員会
事務局：自治労連岡山県本部
Tel086-223-0911・Fax086-227-1393
jichiroren-okayama@ac.auone-net.jp

第10回地方自治研究全国集会 in 岡山

10月16日(土) 岡山シンフォニーホールほか

☆受付開始

13:00～ ☆現地歓迎行事

13:45～ ☆記念講演

17:30～ ☆ナイター講座

10月17日(日) 岡山大学一般教育棟ほか

9:30～15:00 ☆分科会・講座

自治を語ろう！岡山で

第10回地方自治研究全国集会開催まで、10ヶ月足らずとなりました。地元岡山では昨年10月岡山県内の住民団体のみなさんと岡山県実行委員会を立ち上げ、岡山でやってよかったと言えるよう準備を進めています。岡山の年越し派遣村、倉敷の1日派遣村は多くのボランティアで支えられ地域の連帯のちからをあらためて実感しました。

岡山の地方自治をとりまく情勢を交流し、秋には全国から多くの参加者をお迎えできるようがんばっています。

岡山ならではの現地分科会 内容を検討中

1月16日の現地実行委員会(33名)で各分科会の現地選出運営委員の確認や、下記の3つの現地分科会を提案。『岡山ならではの内容に』と検討しています。

- 1 倉敷のまちなみ保全
- 2 児島のジーンズ産業・水島の環境
- 3 ハンセン病の歴史

地域の自治研集会へもご参加ください

西大寺を考える市民のつどい2010 言いたい知りたい西大寺

子どもは地域の宝物～みんなで「食」を考えよう

西大寺に暮らす人、はたらく人たちが、地域から情報を発信してネットワークを広げる集会です。8回目を迎えた今年の集也会も親子で楽しみ、学べる企画がいっぱいです。

とき **1月31日(日) 13時～16時**

ところ 旭川荘研修センター「よしい川」

参加費 **無料** (ただし実費をいただくコーナーがあります)

申込み/問合せ 岡山市職労東区役所支部

(Tel086-944-5061)

メッセージ

岡田雅夫現地実行委員長



地方自治とは、文化の表れである、というのが私の考えです。ここで文化とは、ある一定の地域に住む人々の The way of life であり、たんなる地方の行政制度などではないと思います。もちろんその担い手が、地方公共団体であっても構いませんが、数十万人、ましてや百万人を超す「自治体」を想像することは私にはできません。連帯なくして生きることが困難になりつつある地方でこそ、そのような問題を深めることができるのではないのでしょうか。

このたび地方自治研究全国集会が岡山で開催されることになりました。この機会に、全国の皆さんと、私たちの生活を取り戻すための「自治」とは何かを語り合いませんか。

今。倉敷を考える。 第8回倉敷市地方自治研究集会

今年は伊東香織市長を囲んで「これからの市政を語り合う」特別企画も計画しました。どうしたら住民が主人公の安全・安心で平和な社会と地域がつくれるのか、住民のみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。

とき **2月7日(日) 10時～16時15分**
10時～分科会 13時～全体会

特別企画 トーク&トーク 14時15分～16時15分

倉敷市長 **伊東 香織 氏**

ところ **倉敷労働会館** 参加費 **無料**

申込み/問合せ 倉敷市職労(Tel086-426-3615)

私たちのまち・岡山を考える市民のつどい2010 今年で18回目 ～反貧困で手をつなぎ、憲法を暮らしに活かす岡山市をつくろう～

市民・職員など様々な立場の人が自由に議論できる場として年々定着してきています。

前夜祭

映画「**しあわせのかおり**」
舞台あいさつ 三原 光尋監督

上映 2月20日(土)

時間 ①15時～ ②18時～

参加費	前売	当日
おとな	800円	1000円
しょうがい者	500円	600円
こども(小中高校生)	500円	600円
両日通し券(前売のみ)	1300円	

とき **2月21日(日) 10時～16時30分**

10時～13時30分

教育・子育て、保健・福祉・医療など6つの分科会

14時～15時 全体会

15時～16時30分 記念講演

「**活憲の時代～世界から見た日本国憲法～**」

講師 **伊藤 千尋さん**(朝日新聞者/ジャーナリスト)

ところ **岡山コンベンションセンター**

参加費 前売800円 当日1000円

前夜祭との両日通し券(前売のみ)1300円

申込み/問合せ 岡山市職労(Tel086-232-9714)

おかやま年越派遣村

岡山市内の労働組合や弁護士団体など18団体による「派遣・労働者支援センター」が、昨年12月29日から新年の3日まで「おかやま年越派遣村」を開村。派遣切りにあった方など延べ236人が入村しました。



ボランティアは延べ324人、自治労連岡山県本部からも延べ44人が参加し派遣村の運営を支えました。

開村にあたっては近隣町内会からも快諾を得られ、また報道などで派遣村を知った市民からは激励の言葉やカンパ、ボランティアの申し出が寄せられ運動の広がりを感じました。

しかし、個人の善意には限界があります。相談に訪れた人は「仕事さえあれば」と話します。公的機関による雇用対策、派遣切りを生む労働者派遣法の抜本改正が急がれます。

倉敷派遣村

倉敷ほっとスペース25と県労倉敷は、昨年12月26日に1日派遣村を開設。ケースワーカーや相談員、弁護士や議員などボランティア71人が参加しました。

夫婦で路上生活をしており相談に来られた方にはシェルターを斡旋。また、派遣契約を1ヶ月の細切れにされ雇い止めされた若い女性もいました。

民間ボランティア活動がまだまだ必要です。

第2回実行委員会
(1/16)

09年10月24日岡山県実行委員会設立 -「岡山でやってよかった」といえる集会に-

10月24日サンピーチokayamaで県労会議、新婦人、自治労連など16団体から43名が参加し、「第10回地方自治研究岡山県実行委員会」の結成総会を開催。①集会成功に向けて取り組む、②住民運動の交流と発展・共同をめざし、地域ごとの自治研活動を発展させる、③岡山で開催してよかったと言える集会にする、などを確認しました。また、現地実行委員長には岡山県自治体問題研究所の理事長である岡田雅夫さん(岡山大学副学長)を選出しました。

結成後は、分科会・現地企画の検討や任務分担、レポート提出の要請、物産展の企画検討、実行委員会の拡大などを進めています。

人が輝き豊かにくらすシンポジウム開催

現地実行委員会設立総会后、自治労連20周年・地方自治問題研究機構10周年記念「人が輝き豊かにくらすシンポジウム～幸福を追求する権利と地域づくり～」を同会場で開催。県内外から住民、自治体職員ら101人が参加、交流しました。(シンポの内容は2010年冬号の「自治と分権」に掲載されています)

当面の日程

2/11(木) 分科会・運営責任者合同会議
(13時～/自治労連会館)

3/13(土) 第3回現地実行委員会
(13時～/岡山市勤労者福祉センター)

ニュースの名前は「きびだんご」に決まりました。応募していただいたみなさん、ありがとうございました。キャラクター名とデザインは考案中です。どんなキャラクターが登場するかお楽しみに！